



JPMグローバル医療関連株式ファンド

追加型投信／内外／株式

当ファンドは、国内外の株式を主な投資対象とし、また、その他の外貨建資産を保有することがありますので、株式市場、為替相場、その他の市場における価格の変動により、保有している株式等の円換算した価格が下落した場合、損失を被る恐れがあります。
※ファンドのリスクについての詳細は、中面の「投資リスク」をご確認ください。

ご購入の際は、「投資信託説明書(交付目論見書)」および「目論見書補完書面」を必ずご覧ください。

投資信託説明書(交付目論見書)のご請求・お申込みは

設定・運用は



広島銀行

商号等：株式会社広島銀行
登録金融機関 中国財務局長(登金)第5号
加入協会：日本証券業協会
一般社団法人金融先物取引業協会(1907 広告審査済)

JPモルガン・アセット・マネジメント

商号等：JPモルガン・アセット・マネジメント株式会社
金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第330号
加入協会：日本証券業協会、一般社団法人投資信託協会
一般社団法人日本投資顧問業協会
一般社団法人第二種金融商品取引業協会

世界的な拡大が期待される医療関連市場

先進国と新興国では、いずれも医療需要が高まっており、今後も医療関連市場の拡大が期待

医療関連市場を取り巻くイメージ



先進国

高齢化の進展

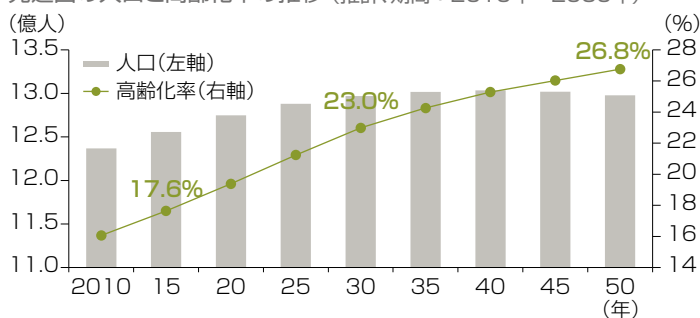
医療技術の進歩

健康志向の高まり

医療関連分野の商品・

人口が伸び悩む中、高齢化が進む

先進国の人口と高齢化率の推移（推計、期間：2010年～2050年）



出所：U.S. Census Bureau

高齢化率：全人口に占める65歳以上の人口の比率

世界的な医療関連

医薬品、バイオテクノロジー

医薬品とは、一般的には薬局やドラッグストアなどで手にすることのできる飲み薬や塗り薬などを指します。

また、バイオテクノロジー（生物の持っている働きを生かした技術）を活用して作られた医薬品はバイオ医薬品と呼ばれます。バイオ医薬品には、糖尿病治療薬のインスリンのほか、抗がん剤などがあり、近年ではiPS細胞など再生医療の研究も盛んに行われています。バイオ医薬品は、従来型の医薬品と比べて、高い治療効果があるとされており、近年は医薬品企業もバイオテクノロジーを活用した新薬開発を手掛けています。

されています。



市場の拡大期待

医療・健康サービス

調剤薬局やドラッグストアのほか、病院や介護福祉施設といった医療関連施設の運営サービスなどを指します。

このほか、製薬企業から調剤薬局などへ医薬品を届ける医薬品卸売企業や、企業や個人に対して医療保険を提供する企業などもあります。

医療機器・器具

血圧計や体温計など家庭でも使われるものから、医療現場で使われる注射針やマスクなどの消耗品、CTやMRIなどの大型検査機器まで多岐にわたります。

最近では、手術支援ロボットの普及が進んでいるほか、介護現場での活躍が期待されるパワーアシストスーツにも注目が集まっています。

医薬品

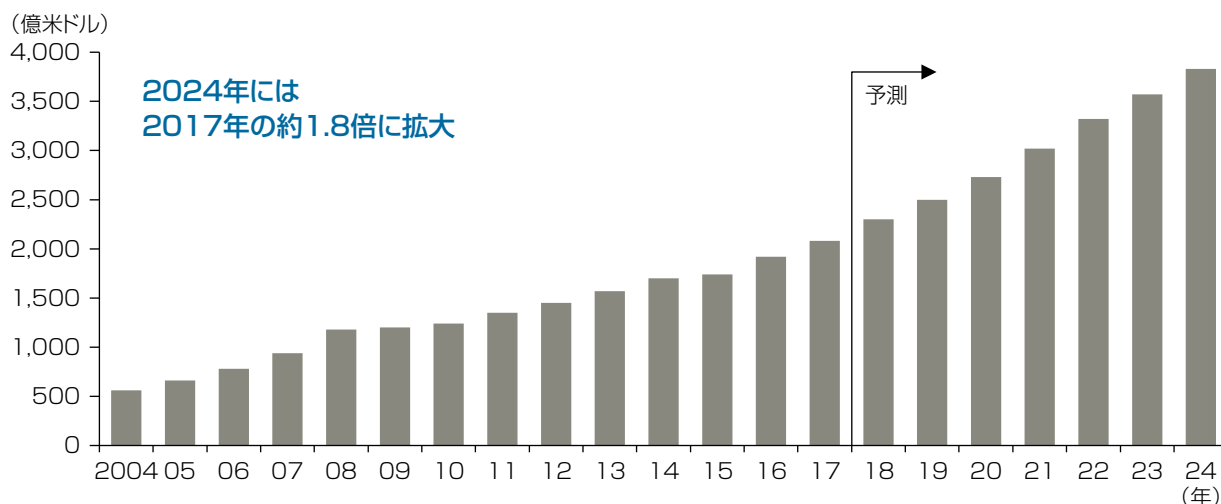
バイオ
テクノロジー

新たな医療の可能性を切り開く

従来の技術では、有効な治療薬の開発が困難であった病気
また、医薬品企業においても、バイオテクノロジーを活用した
今後は個人の体質に合わせたテーラーメイド医療の広がり

拡大するバイオ医薬品市場

世界のバイオ医薬品の売上高の推移（期間：2004年～2024年）

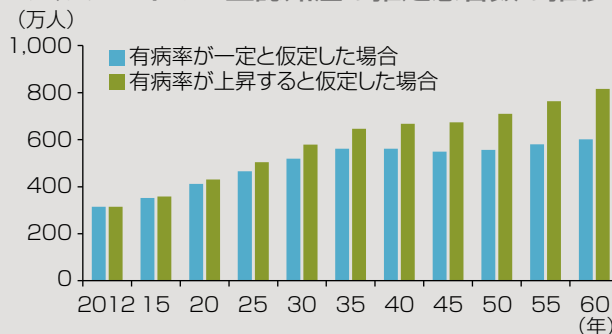


治療が困難な疾病への高い効果が期待されるバイオ医薬品 ～アルツハイマー型認知症

現在、アルツハイマー型認知症を根治させる治療薬はありません。発症後にその進行を遅らせる薬剤での治療が一般的ですが、効果は限定的で、患者や介護者の困難な状況は大きな社会問題になっています。

しかし現在、認知症の原因物質を減らす新しいバイオ医薬品が臨床試験の最終段階にあり、アルツハイマー型認知症の治療における大きな前進につながると期待されます。

アルツハイマー型認知症の推定患者数の推移

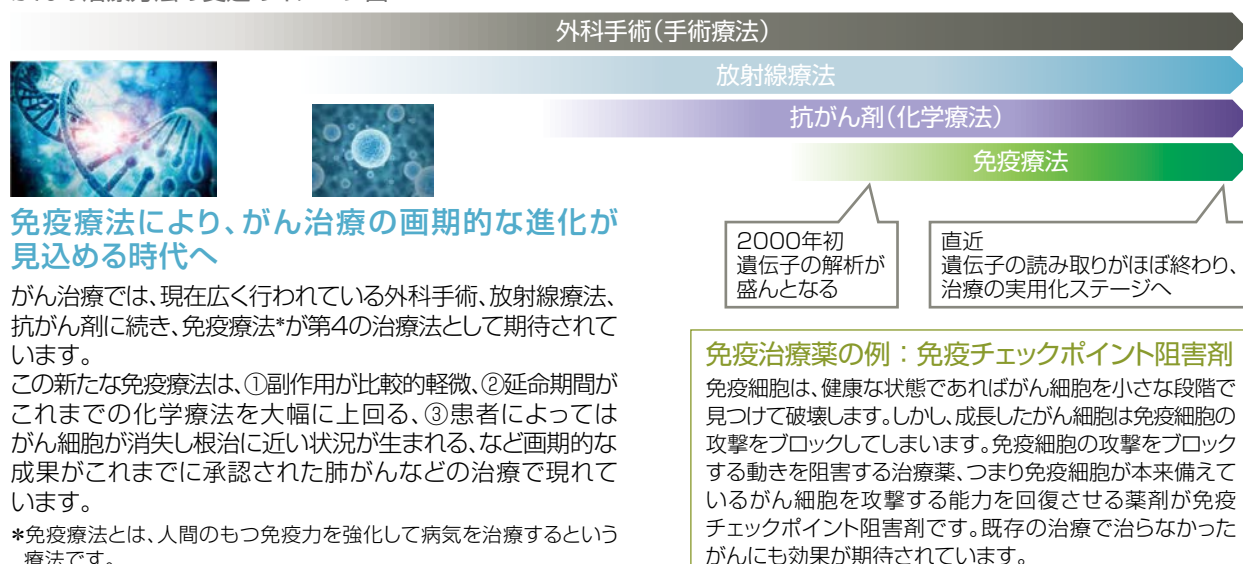


についても、近年はバイオテクノロジーを活用した画期的な新薬の開発が行われています。新薬開発が行われており、バイオ医薬品の市場規模は年々拡大を続けています。なども注目されています。

高まるバイオ医薬品の存在感

バイオ医薬品がもたらす最先端のがん治療への期待

がんの治療方法の変遷のイメージ図



投資企業例 | メルク(米国)

- “メガファーマ”と呼ばれる巨大製薬会社の一角を占める米国の製薬メーカー。
- 肺など呼吸器や心血管、免疫疾患、糖尿病、感染症、がんなどの治療薬の開発製造を手掛ける。ワクチンや動物用医薬品でも世界的なリーダー企業。
- 近年はバイオテクノロジーを活用した新薬の開発を精力的に行う。同社のがん免疫治療薬「キイトルーダ」は、がん免疫療法最大の治療領域とされる非小細胞肺癌において高いシェアが見込まれ、成長のけん引役として期待される。

株価の推移(期間：2015年7月末～2018年7月末)



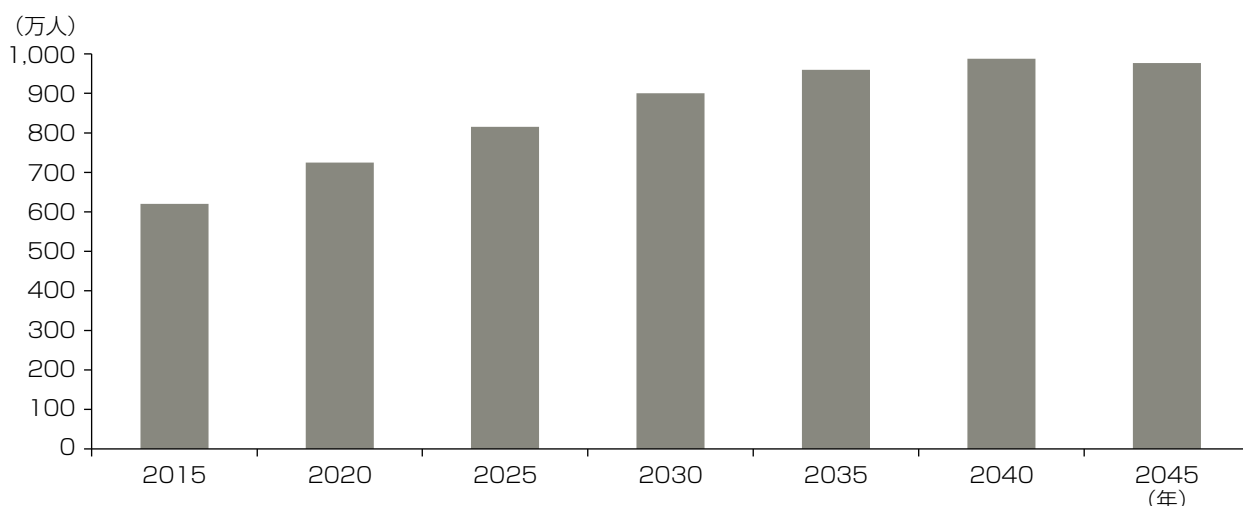
医療・健康
サービス

高齢化社会の到来による需要拡大期待

高齢化の進展とともに、入院患者数や要介護者数の増加が見込まれており、介護サービスや医療保険の需要拡大が予想されます。さらに、病院などの医療施設やドラッグストアにも恩恵があると考えられます。

介護サービスに対するニーズは増加傾向

日本における要介護認定者数の見通し（推計、期間：2015年～2045年）



出所：経済産業省 2018年4月9日 「将来の介護需給に対する高齢者ケアシステムに関する研究会」報告書 含む要支援

投資企業例 | テラドック・ヘルス(米国)

- ヘルスケア・サービス会社でテレヘルス（遠隔治療）を提供。スマートフォンのアプリやビデオを通じて定期的な医療課題に対する診断、治療の推奨、医療品処方などを米国で展開しています。
- 医療費高騰が問題となっている米国において、遠隔診療はコストが安いことに加えて、医師の偏在（都市部に集中し内陸部では不足）の問題にも役立つと見られていることから、市場の拡大が期待されます。
- 更に、この分野で約75%のシェア*を有する同社は優位性が高いと考えています。

株価の推移（期間：2015年7月末～2018年7月末）
（米ドル）



時価総額：4,313億円
（2018年7月末現在）

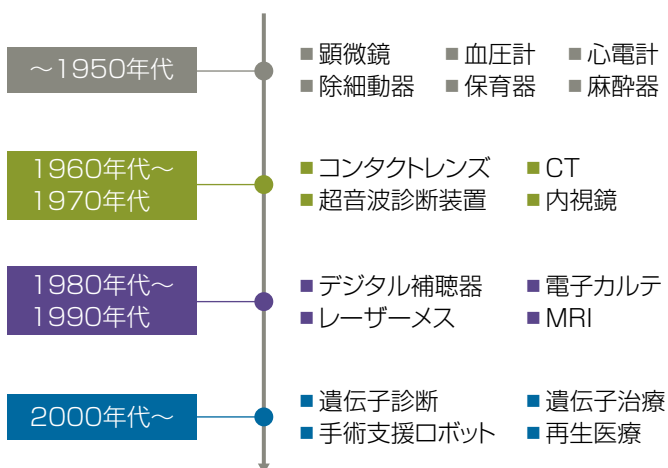
出所：ブルームバーグ *2016年予想 同社決算資料より

技術進歩による市場の拡大期待

医療技術は、日々目覚ましいスピードで進化しています。手術などで使われるメスやハサミだけでなく、新薬開発や診療時に使われる医療機器・器具は、現代医療に欠かすことのできないものとなっています。

医療現場に不可欠な医療機器・器具の進歩

医療機器・器具の進化の歴史



手術支援ロボットが可能にする遠隔医療

AIやロボットの進化は、医療機器分野にも貢献しています。ハイテク技術を駆使した手術支援ロボットは、手術の現場に大きな変革をもたらしています。患者に触れず、患部の立体画像を見ながら、遠隔操作でアームを動かすことで、人間の手だけでは届きにくかった患部の治療などが可能となってきています。

将来的には、その場に医師がいなくても、遠隔地からの操作で手術ができる世界も期待されています。



AIMBE(米国医学生物工学会)、医療機器センター等の情報をもとにJ.P.モルガン・アセット・マネジメント作成

投資企業例 | インテューイティブ・サージカル(米国)

- 手術ロボット製造会社。手術支援ロボット「da Vinci(ダヴィンチ)」で知られ、市場をほぼ独占しています。
- ダヴィンチによる手術では、医師は手術台から少し離れた操作機「サージョンコンソール」に座って操り、モニターでは患部が立体的に把握でき、器具には関節があり回転させることができるため細かな手術が可能となっています。
- 同社は手術ロボットシステム(売上の約30%)よりも専用の手術用器具(同約50%)やサービス(保守契約)売上(同約20%)の比率が多く、収益の継続性も高いと考えられます。

株価の推移(期間: 2015年7月末～2018年7月末)



医療関連市場の拡大に伴う、長期的な成長機会

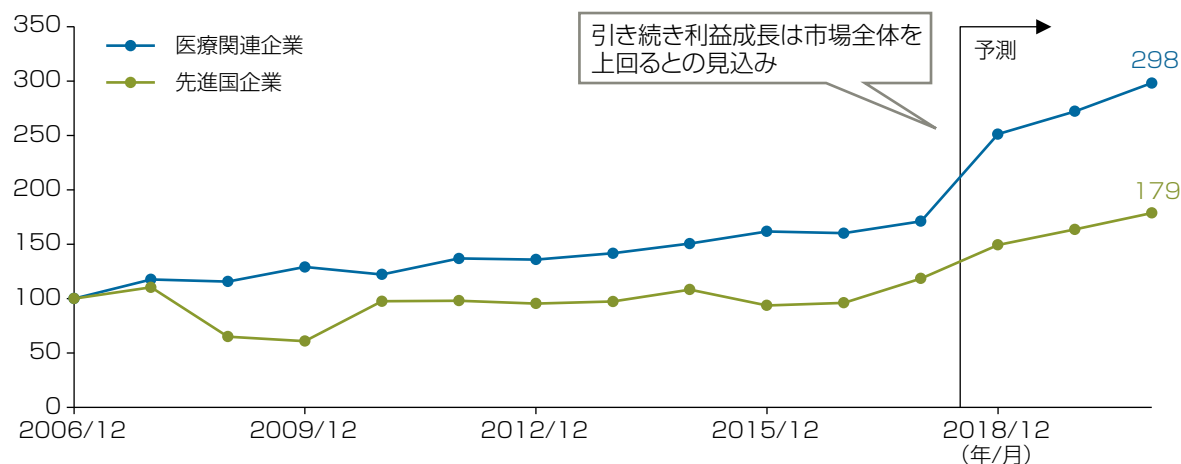
医療関連市場は、医療需要の増加を受け安定的に成長を続けており、今後も拡大が見込まれる。長期的な株価の上昇につながると考えられます。また、医療関連の製品やサービスは人々の関連企業の株価は市場全体と比較し、底堅く推移する傾向が見られました。

株価の 牽引役

医療関連支出の増加に伴う企業の利益成長

医療関連企業の1株当たり利益の推移

(米ドルベース、期間：2006年12月末～2020年12月末(2006年12月末を100として指数化))

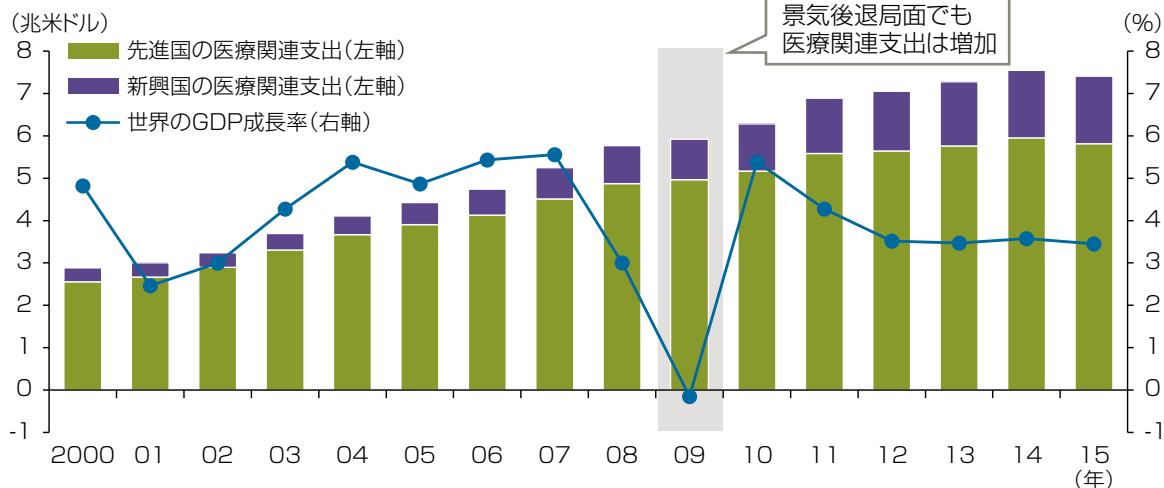


株価の 下支え

景気に左右されにくい医療関連支出

世界のGDP成長率と医療関連支出の推移

(期間：2000年～2015年)



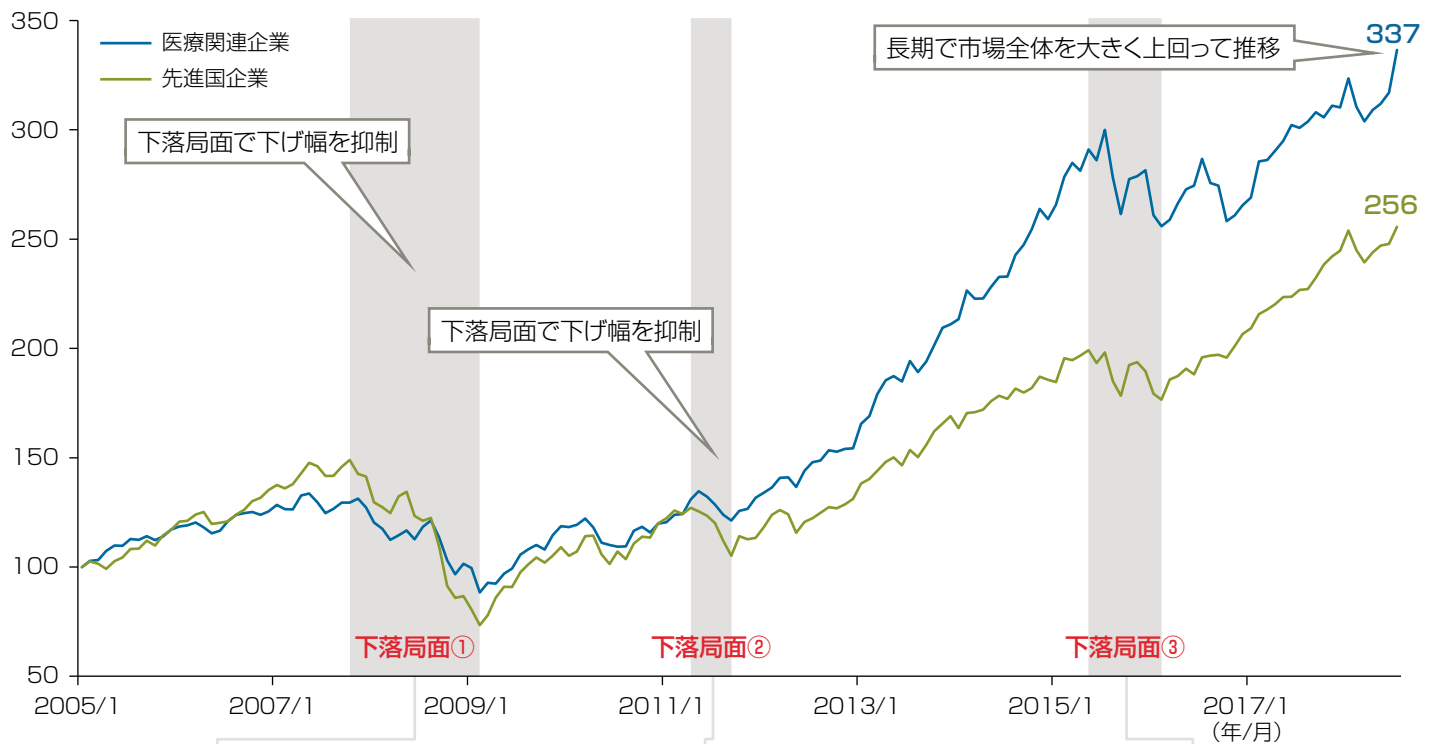
～医療関連企業の株価の動向～

れています。このような環境下で、医療関連企業は引き続き利益を伸ばすと予想されており、生活に欠かすことができないため、一般的に医療関連支出は景気の影響を受けにくく、医療

長期で市場全体を大きく上回った医療関連企業の株価

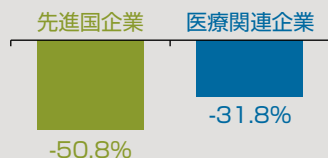
医療関連企業の株価推移

(配当込み、現地通貨ベース、期間：2005年1月末～2018年7月末(2005年1月末を100として指数化))



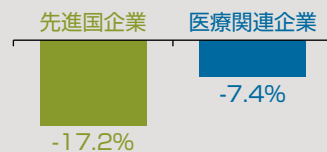
下局面① 世界金融危機

市場全体が大きく下がる中、医療関連企業の株価は市場全体の株価よりも下げ幅が抑えられました。



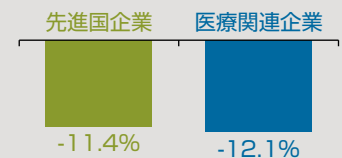
下局面② 欧州債務問題が深刻化

同様に市場全体が大きく下がる中、医療関連企業の株価は、下げ幅が抑えられました。



下局面③ 米大統領選

医薬品企業に対する政策への懸念が高まった時期に、医療関連企業の株価はより下落しました。



出所：ブルームバーグ 下局面①の期間：2007年10月末～2009年2月末、下局面②の期間：2011年4月末～2011年9月末、下局面③の期間：2015年5月末～2016年2月末

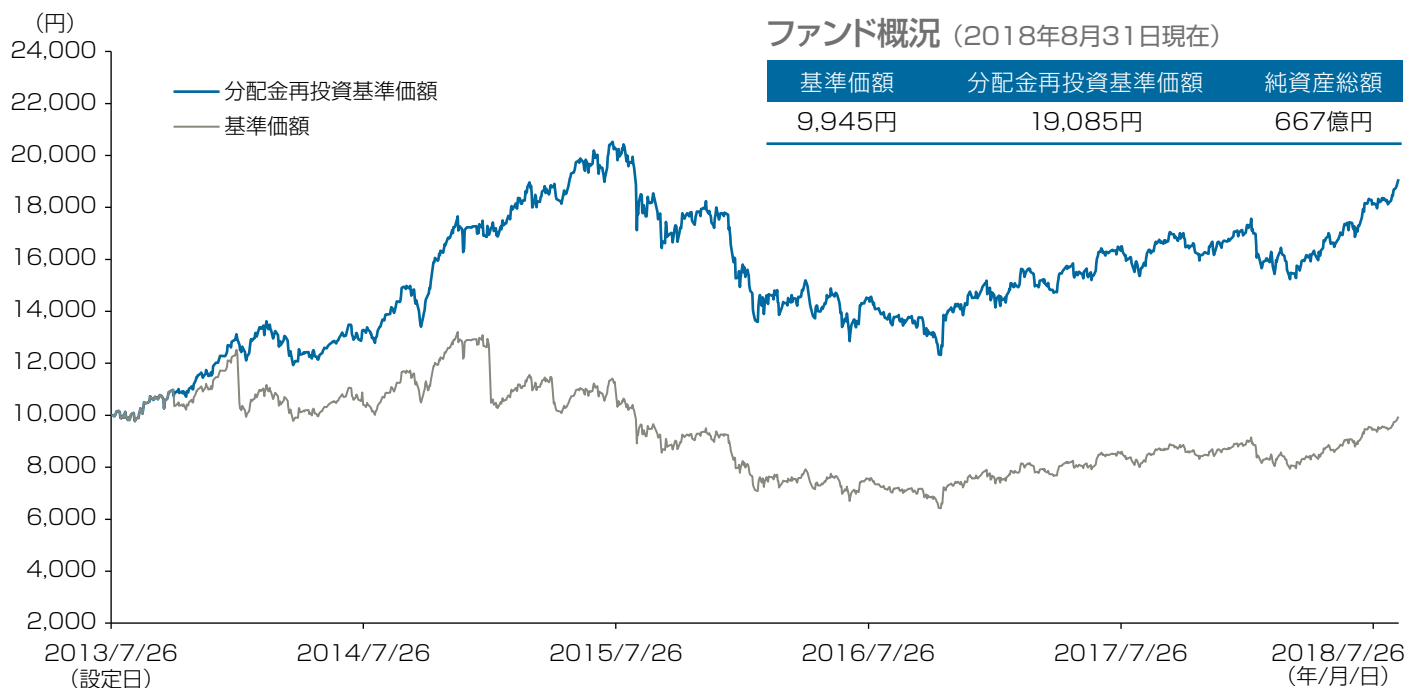
おける当社および当社グループの判断を示したものであり、将来の投資成果および市場環境の変動等を示唆・保証するものではありません。

JPMグローバル医療関連株式ファンド

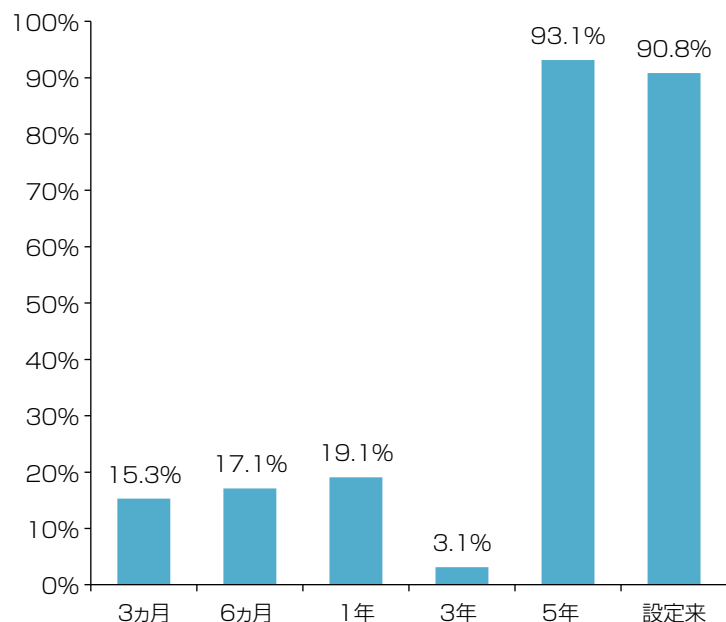
設定来の運用実績

設定来の基準価額および分配金再投資基準価額の推移

期間：2013年7月26日～2018年8月31日



騰落率 (2018年8月31日現在)



分配金実績 (1万口当たり、税引前)

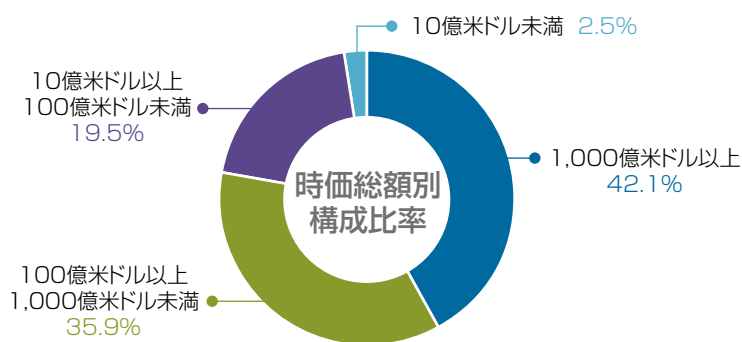
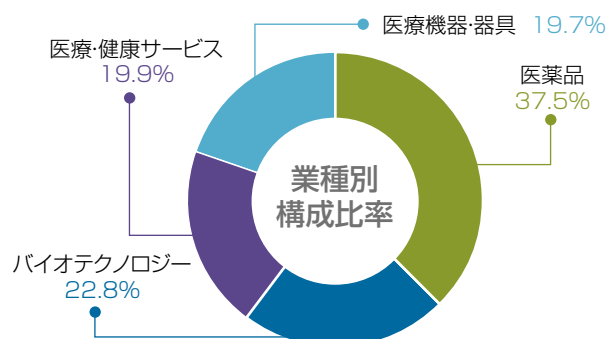
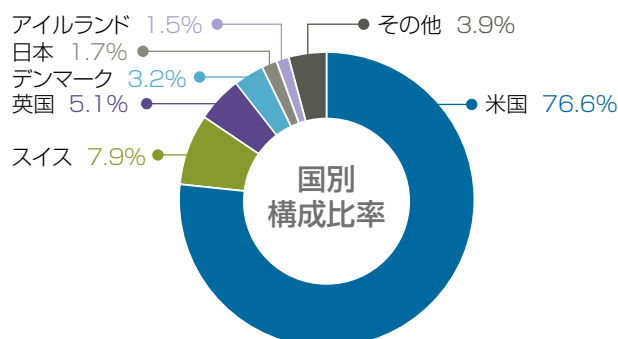
2013年10月	2014年1月	2014年4月	2014年7月
500円	1,700円	0円	500円
2014年10月	2015年1月	2015年4月	2015年7月
500円	2,400円	1,000円	700円
2015年10月	2016年1月	2016年4月	2016年7月
0円	0円	0円	0円
2016年10月	2017年1月	2017年4月	2017年7月
0円	0円	0円	0円
2017年10月	2018年1月	2018年4月	2018年7月
0円	0円	0円	0円
設定来合計			
7,300円			

出所：J.P.モルガン・アセット・マネジメント

基準価額は、信託報酬控除後です。分配金再投資基準価額は、税引前の分配金を分配時にファンドへ再投資したとみなして算出したものです。騰落率は、分配金再投資基準価額を使用して計算しています。実際の投資家利回りとは異なります。上記は過去の実績であり、将来の成果を保証するものではありません。また、必ず分配を行うものではありません。

本資料のデータ・分析等は過去の実績や将来の予測、作成時点における当社および当社グループの判断を示したものであり、将来の投資成果および市場環境の変動等を

ポートフォリオの概要* (2018年7月末現在)



組入上位10銘柄

銘柄	国	業種	比率
1 ユナイテッドヘルス・グループ	米国	医療・健康サービス	7.2%
2 メルク	米国	医薬品	4.8%
3 ジョンソン・エンド・ジョンソン(J&J)	米国	医薬品	4.2%
4 ロシュ・ホールディング	スイス	医薬品	4.0%
5 ノバルティス	スイス	医薬品	3.7%
6 イーライリリー	米国	医薬品	3.2%
7 ファイザー	米国	医薬品	3.1%
8 メドトロニック	米国	医療機器・器具	3.0%
9 ギリアド・サイエンス	米国	バイオテクノロジー	2.8%
10 アンセム	米国	医療・健康サービス	2.5%

組入銘柄数

銘柄数
84銘柄

*ポートフォリオの概要は、JPモルガン・ファンズ・グローバル・ヘルスケア・ファンド(外国投資証券)の現地月末最終営業日基準の数値を使用しています。

出所：J.P.モルガン・アセット・マネジメント

国別・業種別・時価総額別構成比率はいずれも組入保有証券(キャッシュ代替として短期運用を目的とするものを除く。業種別についてはETF(上場投資信託)を除く。)を100%として計算しています。組入上位10銘柄の比率は対純資産で計算しています。四捨五入の関係上合計が100%とならない場合があります。国別については、MSCI分類に基づき分類していますが、当社グループの判断に基づき分類したものが一部含まれます。業種別と時価総額別構成比率については、それぞれ当社グループの判断もしくはデータに基づき分類しています。上記は個別銘柄の推奨を目的として示したのではなく、ファンドへの組入を保証するものではありません。

示唆・保証するものではありません。

JPMグローバル医療関連株式ファンド

世界最大級の規模と信頼性

J.P.モルガン・アセット・マネジメントは、米国に本社を置く世界有数のグローバル総合金融サービス会社であるJPモルガン・チェース・アンド・カンパニー傘下の資産運用部門です。

JPモルガン・チェース・アンド・カンパニーのご紹介

米国の優良株30銘柄で構成されるダウ・ジョーンズ工業株価平均の構成銘柄^{*1}です。

世界に誇るブランド力^{*2}

世界第2位

世界の銀行時価総額
ランキング^{*3}

世界第1位



^{*1} 2017年12月末現在

^{*2} 出所：インターブランド「ベストグローバルブランド2017」ランキングより、ファイナンシャル・サービス・セクターのランキングを抽出。「ベストグローバルブランド」は、グローバルな事業展開を行うブランドを対象に、そのブランドが持つ価値を金額に換算してランク付けしたものです。

^{*3} 出所：ブルームバーグ 2017年12月末現在

ファンドの特色

1 世界の医療関連企業の株式に主として投資します。

先進国における高齢化の進展や新興国における生活水準の向上などを背景とした医療関連企業の成長に注目します。(2018年9月現在)

- ファンド・オブ・ファンズ方式により、世界の医療関連企業の株式に投資する「グローバル・ヘルスケア・ファンド」の組入比率を高位に保つとともに、円建ての公社債に投資する「マネーボール・ファンド」にも投資します。
- 「医療関連企業の株式」とは、グローバル・ヘルスケア・ファンドの運用担当者がそれに該当すると判断する企業の株式をいいます。

2 ファンドは、年4回(1月、4月、7月、10月の各25日^{*})の決算時に分配します。

- ただし、必ず分配を行うものではありません。

^{*}25日が休業日の場合は翌営業日となります。

3 為替ヘッジは行いません。

- 投資先ファンドを通じて外貨建ての株式等に投資しますが、為替ヘッジを行わないため、外国通貨と円との為替変動による影響を受けます。

4 J.P.モルガン・アセット・マネジメントのグローバルなネットワークを活用します。

※J.P.モルガン・アセット・マネジメントは、JPモルガン・チェース・アンド・カンパニーおよび世界の関連会社の資産運用ビジネスのブランドです。

本資料では、投資先ファンドである「JPモルガン・ファンズ・グローバル・ヘルスケア・ファンド」(各シェアクラスを統合したファンド全体)または、その「Xクラス(円建て)」を「グローバル・ヘルスケア・ファンド」といい、投資先ファンド「GIMジャパン・マネーボール・ファンドF(適格機関投資家専用)」を「マネーボール・ファンド」といいます。また、マネーボール・ファンドのマザーファンドである「GIMマネーボール・マザーファンド(適格機関投資家専用)」を「マネーボール・マザーファンド」といいます。

本資料のデータ・分析等は過去の実績や将来の予測、作成時点における当社および当社グループの判断を示したものであり、将来の投資成果および市場環境の変動等を

投資リスク

ファンドの運用による損益はすべて投資者に帰属します。
投資信託は元本保証のない金融商品です。投資信託は預貯金と異なります。

基準価額の変動要因

ファンドは、投資先ファンドを通じて主に国内外の株式に投資しますので、以下のような要因の影響により基準価額が変動し、下落した場合は、損失を被ることがあります。下記は、ファンドにおける基準価額の変動要因のすべてではなく、他の要因も影響することがあります。

株価変動リスク	株式の価格は、政治・経済情勢、発行会社の業績・財務状況の変化、市場における需給・流動性による影響を受け、変動することがあります。
為替変動リスク	ファンドは、為替ヘッジを行わないため、為替相場の変動により投資資産の価値が変動します。
カントリーリスク	新興国に投資した場合は、以下のようなリスクがあり、その影響を受け投資資産の価値が変動する可能性があります。 ■ 先進国と比較して一般的に政治、経済、社会情勢等が不安定・脆弱な面があり、株式や通貨の価格に大きく影響する可能性があります。 ■ 株式・通貨市場の規模が小さく流動性が低いため、株式・通貨の価格変動が大きくなる場合があります。 ■ 先進国と比較して法規制の制度や社会基盤が未整備で、情報開示の基準や証券決済の仕組みが異なること、政府当局による一方的な規制導入もあることから、予期しない運用上の制約を受けることがあります。 ■ 税制が先進国と異なる面がある場合や、一方的な税制の変更や新税制の適用がある場合があります。 「新興国」とは、国内経済が成長過程にあると判断される国をいいます。

委託会社、その他の関係法人

委託会社	JPモルガン・アセット・マネジメント株式会社(ファンドの運用の指図)
受託会社	三菱UFJ信託銀行株式会社(ファンドの財産の保管および管理)
販売会社	委託会社(http://www.jpmorganasset.co.jp/)までお問い合わせください。 (ファンドの購入・換金の取扱い等、投資信託説明書(交付目論見書)の入手先)

本資料で使用している指数について

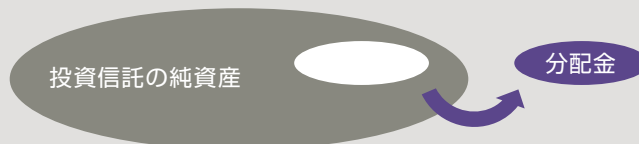
- MSCIの各インデックスは、MSCI Inc.が発表しています。同インデックスに関する情報の確実性および完結性をMSCI Inc.は何ら保証するものではありません。著作権はMSCI Inc.に帰属しています。

JPMグローバル医療関連株式ファンド

収益分配金に関する留意事項

- 分配金は、預貯金の利息とは異なり、投資信託の純資産から支払われますので、分配金が支払われると、その金額相当分、基準価額は下がります。

投資信託で分配金が支払われるイメージ



- 分配金は、決算期中に発生した収益(経費^{*1}控除後の配当等収益^{*2}および有価証券の売買益^{*3})を超えて支払われる場合があります。その場合、当期決算日の基準価額は前期決算日と比べて下落することになります。また、分配金の水準は、必ずしも決算期中におけるファンドの収益率を示すものではありません。

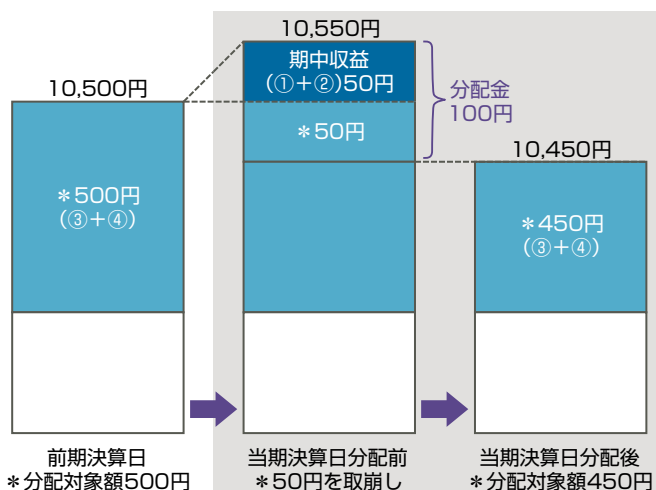
*1 運用管理費用(信託報酬)およびその他の費用・手数料をいいます。

*2 有価証券の利息・配当金を主とする収益をいいます。

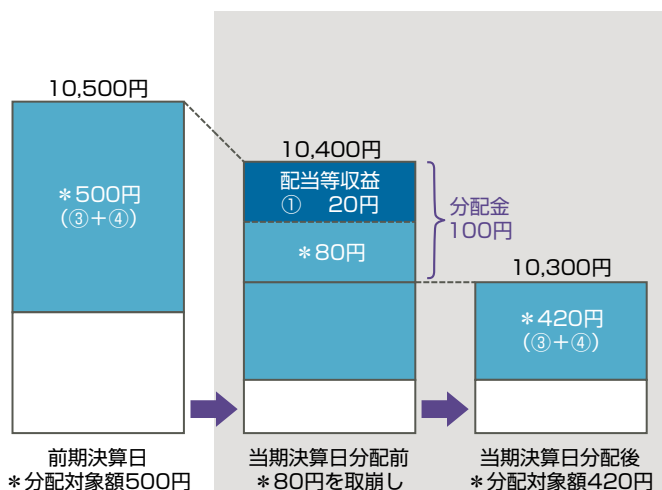
*3 評価益を含みます。

決算期中に発生した収益を超えて支払われる場合

前期決算日から基準価額が上昇した場合



前期決算日から基準価額が下落した場合



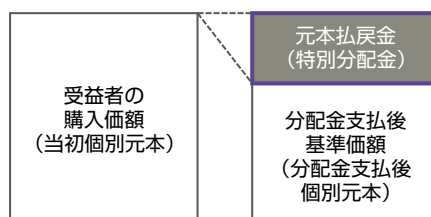
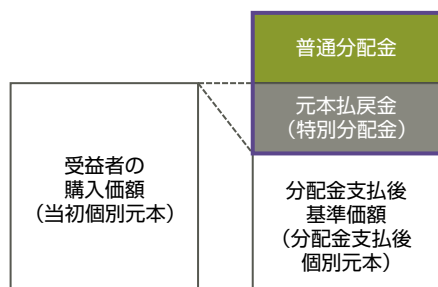
(注) 分配対象額は、①経費控除後の配当等収益および②経費控除後の有価証券の売買益ならびに③分配準備積立金および④収益調整金です。分配金は、分配方針に基づき、分配対象額から支払われます。

※上記はイメージであり、実際の分配金額や基準価額を示唆するものではありませんのでご注意ください。

- 受益者のファンドの購入価額によっては、分配金の一部または全部が、実質的には元本の一部払戻しに相当する場合があります。ファンド購入後の運用状況により、分配金額より基準価額の値上がり率が小さかった場合も同様です。

分配金の一部が元本の一部払戻しに相当する場合

分配金の全部が元本の一部払戻しに相当する場合



元本払戻金(特別分配金)は実質的に元本の一部払戻しとみなされ、その金額だけ個別元本が減少します。また、元本払戻金(特別分配金)部分は非課税扱いとなります。

普通分配金: 個別元本(受益者のファンドの購入価額)を上回る部分からの分配金です。

元本払戻金(特別分配金): 個別元本を下回る部分からの分配金です。分配後の受益者の個別元本は、元本払戻金(特別分配金)の額だけ減少します。

(注) 普通分配金に対する課税については、「投資信託説明書(交付目論見書)」の「手続・手数料等」の「ファンドの費用・税金」をご参照ください。

※上記はイメージであり、個別元本や基準価額、分配金の各水準等を示唆するものではありません。

MEMO

Handwriting practice area with 20 sets of dotted lines for tracing on a lined background.

お申込みメモ

購 入 単 位	販売会社が定める単位とします。ただし、自動けいぞく投資コースにおいて収益分配金を再投資する場合は、1円以上1円単位とします。
購 入 価 額	購入申込日の翌営業日の基準価額とします。
換 金 単 位	販売会社が定める単位とします。
換 金 価 額	換金申込日の翌営業日の基準価額とします。換金時に手数料はかかりません。
換 金 代 金	原則として換金申込日から起算して7営業日目から、販売会社においてお支払いいたします。
申 込 締 切 時 間	原則として午後3時までとします。ただし、販売会社によっては受付時間が異なる場合があります。詳しくは、販売会社にお問い合わせください。
信 託 期 間	2013年7月26日から2023年7月25日(休業日の場合は翌営業日)までです。
決 算 日	1月、4月、7月、10月の各25日(休業日の場合は翌営業日)です。
収 益 分 配	毎年4回の決算時に委託会社が分配額を決定します。ただし、必ず分配を行うものではありません。
課 税 関 係 (個人の場合)	課税上の取扱いは、「公募株式投資信託」となります。2018年8月末現在、普通分配金が配当所得として、換金(解約)時および償還時の差益(譲渡益)が譲渡所得として、それぞれ20.315%(所得税15%、復興特別所得税0.315%、地方税5%)の税率が適用され、課税されます。税法が改正された場合等には、税率等が変更される場合があります。

ファンドの費用

投資者が直接的に負担する費用

購入時手数料	手数料率は 3.78%(税抜3.50%) を上限とします。詳しくは、販売会社にお問い合わせください。 (購入時手数料=購入価額×購入口数×手数料率(税込)) 自動けいぞく投資コースにおいて収益分配金を再投資する場合は、無手数料とします。
信託財産留保額	かかりません。

投資者が信託財産で間接的に負担する費用

運用管理費用 (信託報酬)	フ ァ ン ド	日々のファンドの純資産総額に対して年率1.3284%(税抜1.23%)がファンド全体にかかります。
	投 資 先 フ ァ ン ド	投資先ファンドの純資産総額に対して以下の費用がかかります。 グローバル・ヘルスケア・ファンド: 年率0.50% (注)消費税等はかかりません。ファンドの信託財産から費用として支払われます。 マネーボール・ファンド: 年率0.1026%(税抜0.095%)
	実質的な負担 (概 算)	純資産総額に対して 年率1.83%程度(税抜1.73%程度) がかかります。 グローバル・ヘルスケア・ファンドに純資産総額の99.9%を投資した場合のものです。投資先ファンドの組入比率により、実際の負担と異なる場合があります。
そ の 他 の 費 用・手 数 料	「有価証券の取引等にかかる費用*」「外貨建資産の保管費用*」「信託財産に関する租税*」「信託事務の処理に関する諸費用、その他ファンドの運用上必要な費用*」「グローバル・ヘルスケア・ファンドの運用管理費用*」「ファンドの目論見書の印刷に要する実費相当額*」「グローバル・ヘルスケア・ファンドの事務管理費用(同ファンドの純資産総額に対して上限年率0.15%)」「ファンド監査費用(純資産総額に対して年率0.0216%(税抜0.02%)、上限年間324万円(税抜300万円))」 *運用状況等により変動し、適切な記載が困難なため、事前に種類ごとの金額、上限額またはその計算方法等の概要などを具体的に表示することができないことから、記載していません。	

※2019年10月1日より消費税率が10%に引上げられる予定です。その場合のファンドに係る上記費用の税込の料率および金額は下記のとおりです。

購入時手数料: 上限**3.85%**、運用管理費用(信託報酬)の実質的な負担(概算): **年率1.85%程度**、監査費用: 年率0.022%(上限年間330万円)

ファンドの費用の合計額は、ファンドの保有期間等により変動し、表示することができないことから、記載していません。

ご購入の際は、「投資信託説明書(交付目論見書)」および「目論見書補完書面」を必ずご覧ください。

本資料はJPモルガン・アセット・マネジメント株式会社(以下、「当社」という。))が作成したものです。当社は信頼性が高いとみなす情報等に基づいて本資料を作成しておりますが、当該情報が正確であることを保証するものではなく、当社は、本資料に記載された情報を使用することによりお客さまが投資運用を行った結果被った損害を補償いたしません。本資料に記載された意見・見通しは表記時点での当社および当社グループの判断を反映したものであり、将来の市場環境の変動や、当該意見・見通しの実現を保証するものではありません。また、当該意見・見通しは将来予告なしに変更されることがあります。本資料は、当社が設定・運用する投資信託について説明するものであり、その他の有価証券の勧誘を目的とするものではありません。また、当社が当該投資信託の販売会社として直接説明するために作成したものではありません。

投資した資産の価値の減少を含むリスクは、投資信託をご購入のお客さまが負います。過去の運用成績は将来の運用成果を保証するものではありません。投資信託は預金および保険ではありません。投資信託は、預金保険機構および保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。投資信託を証券会社(第一種金融商品取引業者を指します。)以外でご購入いただいた場合、投資者保護基金の保護の対象ではありません。投資信託は、金融機関の預金と異なり、元本および利息の保証はありません。取得のお申込みの際は投資信託説明書(交付目論見書)および目論見書補完書面をあらかじめまたは同時にお渡ししますので必ずお受け取りの上、内容をご確認ください。最終的な投資判断は、お客さまご自身の判断でなさるようお願いいたします。